

焼き板 打合表

打ち合わせ実施日： 月 日 職員：

団体名					担当者				
実施日	月	日	()	時	分	～	時	分
参加者	名	班数	班	1班につき	名 (目安4名程度)				
活動場所									
活動のねらい	<input type="checkbox"/> 創造力を養う <input type="checkbox"/> 道具の使い方の理解 <input type="checkbox"/> 仲間との協力・親睦 <input type="checkbox"/> その他 ()								

- 購入物品 ご利用の退所日に事務室にて請求書を発行いたします。

焼き板セット 400円(消費税込) 杉板、ヒートン、麻ひも	セット
軍手 70円(消費税込)	双

- 貸出希望用具

カセットボンベ (班に1本)	本	ガストーチ (班に1個)	個
焼き台 (班に1枚) ※木の板です	枚	真鍮ブラシ (2人で1本)	本
布きれ (1人に1枚)	枚	キリ (班に1本)	本
はさみ (班に1本)	本	筆 (大小それぞれ1人1本)	本
パレット (班に1枚)	枚	水入れ (2人で1個/班に1個)	個
ポスカ	セ ッ ト	作り方用紙 (2人で1枚/班に1枚)	枚
アクリル絵の具・焚き火シート (最大4枚) 見本セット・説明パネル・新聞紙・ぞうきん・ごみ袋			

- 創作活動についての留意事項

- ・教材室に焼き板セットを用意しておきます。活動を始める前に取りに来てください。
※教材室は鍵がかかっておりますので、事務室にお声かけください。
- ・やけどやケガをしないように十分にご注意ください。
- ・机やイス、壁などを傷つけないようにしてください。
- ・活動後は使用場所の清掃をして、職員の点検を受けてください。
- ・貸出用具の数を確認して、もとの位置に戻してください。
- ・活動中に出了ごみは、ごみ袋に入れて事務室へ持ってきてください。

**打合表は、貸出用具の数量確認などに必要となりますので、
活動終了後までお持ちください。**

やいた 焼き板

【準備】

- 机を「㊸杉板を焼く場所」「㊹色つけをする場所」の2か所準備しましょう。
- 机の上に新聞紙を敷いておきましょう。

※㊸の机には焚き火シートを敷きましょう。

焚き火シートが足りない場合は、濡らした新聞紙を敷きます。

(焚き火シートと、濡らした新聞紙の上で杉板を焼きます。新聞紙が乾いたらまた濡らしてください。)

濡らした新聞紙

焚き火シート

【作り方】

- ①安全のため必ず軍手をしましょう。杉板をガストーチで焼きます。
※焼き具合はお好みですが、コゲるぐらいまで焼いても大丈夫です。
側面も忘れずに。裏面はお好みで。



- ②全体が焼けたら、真鍮ブラシでコゲやススを落とします。
※擦ってみて手につかないぐらい落とします。
※焚き火シートの上ではやらないでください。



- ③布切れで残ったススや汚れを落としきれいに磨きます。



- ④アクリル絵の具やポスカで絵や字を描きます。
※アクリル絵の具は水をつけすぎないようにするときれいに塗れます。



- ⑤最後にヒートンを取り付け、麻紐を通したら完成です。
※ヒートンが入りにくい場合は、キリで穴を開けると入りやすくなります。
キリを使うときは、安全に注意しましょう。



できあがり

注意とお願い

- 火を使いますので、やけどやけがのないように十分に注意をしてください。
- 机や床、壁などを傷つけたり汚したりしないようにしてください。
- 使用した場所は掃除をしてください。机・イスを整頓して、職員の点検を受けてください。
- 借りた用具は数を確認して、もとの場所へ戻してください。
- ごみはごみ袋に入れ、事務室へ持ってきてください。